



▶▶山形県長井市

# 新たな命におめでとうの 気持ちを込めて

長井市では、子どもが生まれた世帯に育児用品等が入った箱「BabyBox」を贈るプロジェクトを立ち上げました。オリジナルデザインのBOXに詰められた子育て用品は、ひとつひとつ地域の企業・伝統工芸職人・NPO・市民・行政が協力して作り上げたものです。

「BabyBox」の開発費、発案者である地域おこし協力隊員の起業に必要な経費をクラウドファンディング型のふるさと納税で募集しました。完成した「BabyBox」は、平成29年4月から市の窓口で子育て世帯に対して贈呈しています。

また、「長井小学校第一校舎」を新たに交流拠点として整備し、市出身者等で構成される「ふるさと長井会」の会員や寄附者等との交流事業を通じて新たな人の流れを生み出すことにも力を入れています。



BabyBoxの中身



交流拠点として整備された旧・長井小学校第一校舎

注力した点や工夫した点

市の子育て・教育に対する想いや、寄附の使い途を具体的に示すことで、特に子育て世代の共感を呼び、全国から寄附が集まりました。

Check

## 取組の効果

「BabyBox」は、グッドデザイン賞の受賞などによって多くの報道機関に取り上げられ、注目を受けました。

きっかけとなり、将来の移住候補者や新たな人の流れを生み出す取組となるよう期待しています。

「BabyBox」事業は、地場産業の振興、市民の活躍の場や地域との交流の創出にも繋がり、子育て支援と同時に様々な地域課題を解決する手段となっています。「長井市で子育てがしたい」と選んでもらえる一つの



地域おこし協力隊によるお母さんのニーズ調査



平成29年4月、第一号となるBabyBoxの進呈

寄附者の声



・地域おこし協力隊を中心に、自治体、地場産業、地域のママ達まで巻き込んだ子育て支援であり、とても温かみを感じました。

住民の声



・子どもだけではなく、ママへのプレゼントという感じでとてもうれしく思いました。